

☆ R5年度学校評価報告

令和5年度「より良い学校生活をめざして」アンケート（12月実施分集計）

◎ 評価は4段階で、該当する評価の欄に○を書き、可能な範囲で御回答ください。

（4:そう思う 3:どちらかというとそう思う 2:あまり思わない 1:思わない）

		内 容	生徒 肯定値	保護者 肯定値	教職員 肯定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
校訓【自主・努力・敬愛・健康】	人づくり	1 生徒は、好ましい友人関係があり、楽しく登校している。	91.6%	88.7%	92.5%	3.5	3.3	3.1
		2 生徒は、夢や目標をもち、そこへ向けて努力している。	78.6%	70.7%	82.5%	3.1	2.9	2.9
		3 生徒は、社会のルールや学校のルールを守っている。	91.6%	91.7%	52.5%	3.3	3.3	2.5
		4 学校は、子どもたちの間違っただ行動に対して、きちんと指導している。	87.6%	87.4%	100.0%	3.4	3.1	3.4
		5 学校は、子どもの将来の進路や生き方について考える機会を設けている。	86.6%	86.0%	95.0%	3.2	3.0	3.4
		6 保護者は、家庭でスマートフォンやゲーム等の使用についてルールを決めて守らせている。	75.5%	67.5%	20.0%	3.1	2.8	2.1
		7 学校は、生徒の能力や努力を適切に評価し、自信を持たせようとしている。	84.9%	82.6%	95.0%	3.2	3.0	3.2
	学力づくり	8 生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。	55.8%	45.9%	17.9%	2.6	2.4	2.1
		9 学校は、わかりやすい授業を工夫し、基礎・基本の定着を図っている。	86.2%	77.0%	100.0%	3.3	2.8	3.2
		10 学校は、授業でICT機器を効果的に活用している。	79.2%	81.3%	84.6%	3.1	2.9	3.0
		11 学校は、地域の自然・人材・文化などを学習に取り入れている。	78.8%	83.3%	69.2%	3.1	3.0	2.7
	体力づくり	12 生徒は、「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」の習慣化ができてい	81.6%	70.7%	62.5%	3.2	2.9	2.6
		13 生徒は、部活動に積極的に参加している。または、運動の習慣がある。	81.1%	77.8%	97.5%	3.3	3.2	3.3
	心づくり	14 生徒は、自分の良さを自覚し、それを伸ばそうと努力している。	74.0%	71.9%	72.5%	3.0	2.9	2.8
		15 学校は、安全に気を配り、学習環境が整っている。	83.2%	86.5%	85.0%	3.1	3.0	3.1
		16 学校は、道徳や人権教育、平和教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。	91.2%	86.5%	97.5%	3.4	3.0	3.4
		17 学校は、生徒理解に努め、悩みや相談等に親身に対応している。	81.6%	79.9%	100.0%	3.2	2.9	3.5
		18 学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている。	74.0%	72.7%	100.0%	3.0	2.8	3.4
	地域づくり	19 保護者は、授業参観や学校行事、PTA 活動に積極的に参加している。	61.4%	58.9%	55.0%	2.8	2.6	2.6
		20 学校は、学校の方針や生徒たちの様子を学校だよりやホームページ等で伝え、特色ある教育活動を行っている。	88.9%	91.4%	100.0%	3.3	3.2	3.6
		21 学校は、ふるさとを大切に子どもを育てようとしている。	86.2%	83.7%	80.0%	3.2	3.0	3.0

【校訓】 自主・努力・敬愛・健康

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、進んで学び、健やかでたくましく行動する生徒の育成

☆表の見方

・ 数値は12月に実施した学校評価アンケートのデータである。

・ 数値 青色<1学期末(5年度7月実施)より上がったもの>

赤色<1学期末(5年度7月)より下がったもの> 2.8%/0.1

○人づくり

※学校評価の数値は4段階評価

学校関係者評価	自己評価	考 察
B+	B	3学期のキーワード「心を込めて～本気・本腰・本物へのステップアップ」は自分の成長に向けた目標として、具体的に自分で決めた何かを行動し続けていくことを呼びかけている。それぞれの場面における成長を積み重ね、成長できていることを生徒に実感させていきたい。

人 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者 肯定値	教職員肯 定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
	1	生徒は、好ましい友人関係があり、楽しく登校している。	91.6%	88.7%	92.5%	3.5	3.3	3.1
	2	生徒は、夢や目標をもち、そこへ向けて努力している。	78.6%	70.7%	82.5%	3.1	2.9	2.9
	3	生徒は、社会のルールや学校のルールを守っている。	91.6%	91.7%	52.5%	3.3	3.3	2.5
	4	学校は、子どもたちの間違っただ行動に対して、きちんと指導している。	87.6%	87.4%	100.0%	3.4	3.1	3.4
	5	学校は、子どもの将来の進路や生き方について考える機会を設けている。	86.6%	86.0%	95.0%	3.2	3.0	3.4
	6	保護者は、家庭でスマートフォンやゲーム等の使用についてルールを決めて守らせている。	75.5%	67.5%	20.0%	3.1	2.8	2.1
	7	学校は、生徒の能力や努力を適切に評価し、自信を持たせようとしている。	84.9%	82.6%	95.0%	3.2	3.0	3.2

□学校評議員会から（前期）

- ・ 元気な生徒がいるが、メリハリがつけば、また大きく伸びるのではないかと期待している。
- ・ 社会の情報、大人の意見に左右されがちであるが、自分を大切に育てていくことが大切である。
- ・ 若い先生方にも4月と比べればゆとりが感じられる。これからもよい経験値を高めてほしい。

□学校評議員会から（後期）

- ・ 学級の規範意識が下がっているが、大きく気にする必要はないのではないかと。全体ではここで収まっている、落ち着いていると考えれば、個のレベルが上がっていることに着目して支援、指導ができると思われる。
- ・ 「美点凝視」のテーマのもと、先生方の支援や声掛けのおかげで、子どもたちが成長していることを見ることができる。ぜひ、続けてほしい。

○学力づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
C—	C—	本校の最も大きな課題の1つと言える項目である。項目8は定期テストや受験という具体的な目標がありながら生徒、保護者とも0.1下がる結果となった。学習する意義、学習する方法等、基本的なアプローチから指導していきたい。また、保護者を巻き込みながら改善のための方策を探していきたい。

学 力 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保 護 者 肯定値	教職員肯 定値	生徒 評価	保 護 者 評価	教職員 評価
	8	生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。	55.8%	45.9%	17.9%	2.6	2.4	2.1
	9	学校は、わかりやすい授業を工夫し、基礎・基本の定着を図っている。	86.2%	77.0%	100.0%	3.3	2.8	3.2
	10	学校は、授業でICT機器を効果的に活用している。	79.2%	81.3%	84.6%	3.1	2.9	3.0
	11	学校は、地域の自然・人材・文化などを学習に取り入れている。	78.8%	83.3%	69.2%	3.1	3.0	2.7

□学校評議員会から（前期）

- 様々な知識のインプットが足りない（情報が足りない、表現方法がわからない等）。学校の勉強だけでなく、家庭や地域環境から学ぶものが加わってほしい。
- スマホの浸透等のため、対話や話し合いの数値が低いのは仕方がない部分であるかもしれないが、（本や新聞を）読む習慣を高めてほしい気持ちがある。
- 漢字は読めても書けない子どもが多くないか。書くことも大切ではないか。
- ひとつの答えを導き出すためには、十の情報が必要であり、その過程に学習の深みが出てくる。これを経験することは心の成長にもつながる。子どもたちはこういった活動を喜べるようになってほしい。

□学校評議員会から（後期）

- 家庭学習の時間が向上していることはとても良いことであるが、生徒自身の自覚だと思う。理解ができている生徒は家でも学習が進むと思うが、理解ができていない生徒は家でも学習は進まないだろうと予測できる。学習の仕組み「なぜ学習しないといけないのか」を考えさせ、自発的に取り組む姿勢を向上させてほしい。
- 主体的に学ぶ姿勢が高まると（クラスの中で主体的に取り組む生徒が増えると）引っ張られてよい傾向につながっていくと思われる。以前はあったと思える足を引っ張る行為や雰囲気は、今の日中中には感じられないし、見受けられない。お互いに支え合って高め合える学習の雰囲気を構築して行ってほしい。自覚をたかめてほしいと願う。

○体づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B	B—	「早寝・早起き・朝ごはん」の生徒肯定値が上がっていることは健康への意識の向上と捉えたい。朝ごはんの摂取率については各クラス9割前後が毎日摂取と答えているが、栄養のバランスを考えた食事について継続指導が必要である。インフルエンザによる学級閉鎖を10月に3クラスで行った。現在も意識を高く保ち、予防に努めている。

体 力 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者肯 定値	教職員肯 定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
	12	生徒は、「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」の習慣化ができています。	81.6%	70.7%	62.5%	3.2	2.9	2.6
13	生徒は、部活動に積極的に参加している。または、運動の習慣がある。	81.1%	77.8%	97.5%	3.3	3.2	3.3	

□学校評議員会から（前期）

- ・登下校の状況はどうか。歩いて登校する生徒、車で送ってもらっている生徒、それぞれであろうが、小学校よりは徒歩通学している子どもが多いようである。

□学校評議員会から（後期）

- ・クラブチームと学校の部活動の在り方や運用方法、生徒の選択制について、判断が難しい部分があるのではないかと心配している。友人関係の作り方や必要以上の勝利至上主義など、すでに悩みの声を聞いている。外部指導者の導入について、市の枠組みは実証システムの検証段階であることも聞いたが、どういう状況なのかと見守っている状態である。

○心づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B	B—	保護者の肯定値が全5項目において上がったことを前期は報告できたが、今回はさらに2項目に向上が見られた。今後も生徒を主役、生徒の成長を第一に、心に寄り添った支援、指導を引き続き丁寧に進めていく。生徒の声、保護者の意見をしっかり聞き、心に響く対応をしていく。

心 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者肯 定値	教職員肯 定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
	14	生徒は、自分の良さを自覚し、それを伸ばそうと努力している。	74.0%	71.9%	72.5%	3.0	2.9	2.8
	15	学校は、安全に気を配り、学習環境が整っている。	83.2%	86.5%	85.0%	3.1	3.0	3.1
	16	学校は、道徳や人権教育、平和教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。	91.2%	86.5%	97.5%	3.4	3.0	3.4
	17	学校は、生徒理解に努め、悩みや相談等に親身に対応している。	81.6%	79.9%	100.0%	3.2	2.9	3.5
	18	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている。	74.0%	72.7%	100.0%	3.0	2.8	3.4

□学校評議員会から（前期）

- ・叱ると褒めるの両輪から心を成長させてほしい。しかし、叱られる経験が昔とは違うと思う。
- ・TVのいじめ番組でスクールロイヤー導入の自治体が紹介されていた。佐世保は先進的にしているとのことだが、学校と関わり、連携してほしい。先生方の負担を軽くしてほしい。

□学校評議員会から（後期）

- ・学校の自己評価は厳しいように感じるが、厳しく捉えている点を改善できるよう、今後も継続して取り組んでほしい。
- ・これから上がっていくと期待を込めての評価とします。

○地域づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B+	B	本年度の新しいPTA組織の在り方については、執行部と協議を重ね、次年度につなげていきたい。ふるさと教育については、3年生が修学旅行で中九州を見学したことで、九州の中の長崎という視点で、1・2年生はふるさと歴史発見学習、職場体験学習で学び、長崎の中の佐世保という視点でもふるさとを学習できたと考えている。

	番	質問事項	生徒 肯定値	保 護 者 肯定値	教職員肯 定値	生徒 評価	保 護 者 評価	教 職 員 評価
地 域 づ く り	19	保護者は、授業参観や学校行事、PTA活動に積極的に参加している。	61.4%	58.9%	55.0%	2.8	2.6	2.6
	20	学校は、学校の方針や生徒たちの様子を学校だよりやホームページ等で伝え、特色ある教育活動を行っている。	88.9%	91.4%	100.0%	3.3	3.2	3.6
	21	学校は、ふるさとを大切に子どもを育てようとしている。	86.2%	83.7%	80.0%	3.2	3.0	3.0

□学校評議員会から（前期）

- ・「ララコープ黒髪」の移転で高齢者の方が遠方へ行かなくてはならなくなった。不便な方もいれば、認知症の疑いの方もいる。知った人であれば優しい声掛けをしてほしい。
- ・校長先生が言われた「美点凝視」の方針はとても素晴らしく、褒めることは大切である。子どもたちはきっとキラッと輝くものを持っている。続けてほしい。
- ・褒めることを具体的に考える必要もある。言葉の力、言葉の意図をよく吟味して、成功体験につなげてほしい。叱られることは失敗ではあるが、その後に子どもたちが（-）を（+）に変えることができるような指導を積み重ねてほしい。

□学校評議員会から（後期）

- ・日宇地区文化祭はとても好評であった。児童・生徒の頑張りは地域の励みとなり、宝であるとたくさん声を聞いた。コロナの制約が取れた今年の秋から地域を再度、活性化するという予告通りになり、安心とともに感謝している。
- ・「勝利を拾う清掃活動」は新たな本年度からの取組とのことだが、とてもよい発案と活動である。地域へ感謝の気持ちを伝える学校の意図を地域は感じることができているし、何より生徒が自主的に活動できていることが有難いし、嬉しい報告である。
- ・校外活動でも日宇中生徒の頑張りが見られた。夏の弁論大会は順位的には4番目であったが、論の構成、骨子が素晴らしい発表であった。健全育成会のパネルディスカッションではSDGSの論題で議論が交わされた。日宇中生徒の意見、発表もしっかりした内容であった。学校だよりでもお知らせがあっており、今後も多くの頑張りを伝えてほしい。

<これからの日宇中へ>

- ・「共に前へ」の合言葉とともに学校経営方針が学校全体に浸透していると感じている。このテーマのもとで生徒たちが切磋琢磨し合い、前へ進んでいる様子が見えてくる。ICTを活用した授業も積極的に導入され、生活面も含めて「本気・本腰・本物」が実現されてほしいと心から願っている。
- ・先生方の頑張りのもと、生徒、保護者、地域との信頼関係が築かれていることが何より嬉しい。今後も素晴らしい日宇中を応援していきたい。

